

組合長あいさつ

代表理事組合長

市川 平治

「森だより十六号」の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

早いもので、私が代表理事に就任させて頂いて三年が経ちました。

その間、重大な事故や経営上のトラブルもなく安定した組合運営を進めることが出来たのも、役職員や組合員各位のご理解ご協力、また、関係機関のご指導の賜物と心から感謝申し上げます。

先般の、総代会後理事会で二期目がスタート致しましたが、旧に倍するご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、突然ですが「野の花を見なさい。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。」という言葉をお聴きになられたことがあるでしょうか？

これは、キリストが色々な欲望に悩む人々に対して語った言

葉として伝えられているものです。「ソロモン王朝」は、贅沢を極め、華美な装飾を誇った伝説的な王朝ですが、それよりも「野の花」の方が美しいではないか。というこの言葉に、私は自然と共にある、林業という産業に従事する者として心に響くものを感じます。

ところで、木材生産を経済活動の基礎とする林業界の現状は、長期低迷が常態となり、将来の見通しも全く立たない状況にあります。

私たち林業関係者は、衆智を集めて木材の価値を理解してもらう活動に取り組んでいます。現実問題として私たちの周囲には鉄を始めとする金属製品や石油を原料とした化学製品が溢れています。

たしかに、使い勝手や耐久性、見た目の美しさ、等々、それらの製品の優れた点は少なくありません。そして、私たちは日常生活の多くをそれらの化学製品に頼って過ごしています。しかし、野の花と同じに自然の恵みの中で育った木材と、人が作り出した化学製品。どちらが人間

の生活に適合しているか？どちらが本当の美しさを持っているか？改めて考えてみたいものです。

もちろん、経済活動として成り立たない林業の現状は、何としても打破しなくてはなりません。その一方、人間も自然界の生物の一種類であることを思えば、森林を育て、自然環境を守り、木材を生産する林業という産業に関係することに、私は大きな誇りを持ちたいと思うのです。

苦しい現状の中ですが、これからも組合運営に鋭意取り組んで行く覚悟です。宜しく申し上げます。



第十六回

通常総代会開催

榛名文化会館エコー

平成二十九年六月三十日

総代会提出議案

○第一号議案

平成二十八年事業報告書、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分案承認の件

○第二号議案

平成二十九年度事業計画書承認の件

○第三号議案

経費の賦課金額及び賦課金徴収時期決定の件

○第四号議案

造林補助金取扱手数料率決定の件

○第五号議案

一組合員に対する貸付金の額並びに貸付利率の最高限度決定の件

○第六号議案

一組合員に対する債務保証の最高限度決定の件

○第七号議案